

## TGM 伊アルプロ社社長に聞く

## 断熱スペーサーの最新動向

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、イタリア・アルプロ社、デンマーク・ロールテック社、イタリア・フエンジー社、スペイン・テックグラス社の4社で構成する「ガラスアライアンス」グループの複層ガラス用ウオームエッジ(高断熱)スペーサーを販売する。新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻など、世界情勢が劇的に変化している昨今、スペーサーの事業環境について、同社がアルプロ社のマルコ・デル・ピアンコ社長に最新の動向を聞いた。

「2022年上半期(1~6月)の事業状況は。」

「昨年が続いて当社のスペーサーの需要は常に増加傾向にあった。幾つかの要因があると思われるが、イタリアでは住宅建設と商業建設の両方で継続的に投資が続いていること、イタリアだけでなくヨーロッパやその他の国でも、エネルギー効率を改善するリフォームへの支援が強化されてい



アルプロ社のマルコ・デル・ピアンコ社長

「ウオームエッジスペーサーの普及状況は。」

「エネルギー効率向上に関する新しい基準を満たす必要があるため、各国の市場がウオームエッジスペーサーに意欲的だ。パラメーターの基準値はますます厳しくなっている。窓の熱貫流率の改善が求められており、従来のアルミニウムスペーサーから、最新世代のウオームエッジスペーサーに移

行していく必要がある。これは、熱損失を減らし、窓の性能を最適化し、室内の環境をより快適にしているといえる。2021年はアルミニウムの材料価格が急騰したこと

「価格の状況は。」  
「エネルギーコストの大幅な増加によって原材料コストも増加してお

分的な衰退が見られていたが、新型コロナウイルスのロックダウンにより、深刻な後退に見舞われた。主に上海周辺地域に影響を及ぼし、多くの企業が通常の方法で運営することが不可能であったため、大幅な量の削減を余儀なくされた」

「新製品情報。」

「テクノロジーと生産性の両方の観点から、新しいソリューションの開発に常に取り組んでいる。私たちは革新的な製品の開発に焦点を当てており、卓越したレベルの性能を達成させていく。ただし、現在は生産プロセスの改善に注力しており、ウオームエッジスペーサーの生産能力を高めるためにプロセスの自動化に投資している」

「私たちのブランドは世界中に輸出されており、あらゆる生産ニーズに対応するさまざまな素材で作られた幅広い製品ラインアップがある。現在、特に中欧および北欧では、ビルや住宅のエネルギー効率を高める材料や製品の需要が高まっている。他の地域でも順調に需要は伸びており、ほぼ世界的なトレンドとなっている」

「当社が属するガラスアライアンスグループの社は、TPS(サーモプラスティックスペーサー)製スペーサー『フェロテック』などもある」